

個別施策名	地域社会への参加の促進
施策内容	・老人クラブやシルバー人材センターなどの高齢者が社会参加する場や活動の活性化を図り、地域活動や就業による地域社会への高齢者の参加を促進します。
行政への提言	①老人クラブに魅力を感じていない元気なシニア世代の活躍の場を模索すること。 ②非会員が参加してみようと思える仕掛け、受け入れ態勢が不足している。
市長からの回答	①「げんきスポット事業」を行い参加だけでなく、担い手としても活躍しています。 ②役員、常任幹事を中心に「理念」を策定し、取組みについても検討していきます。

個別施策名	学校・家庭・地域との連携の推進
施策内容	・地域の優れた知識、技能を有する人材を活用し、多様な知識や経験を学ぶことができる機会を増やします。 ・自治区やPTAを始め、市民活動・スポーツ団体と学校・家庭がともに活動する場を設け、相互交流を促進します。 ・小1プロブレムや中1ギャップなどを解消するため、幼稚園と小学校、小学校と中学校や地域の高校との連携を図り、学校間交流を推進します。 ・保護者や地域住民で構成する学校運営支援協議会により、地域と学校の連携を深めます。
行政への提言	①今後のコミュニティスクール化を見据えて、学校ボランティアの充実が必要。 ②学校から地域へ情報発信し、学校へ貢献したいという意欲向上を図る。
市長からの回答	①学校と地域をつなぐコーディネーターを配置し、動員を図ります。 ②「学校だより」等を活用し情報発信と共に、学校運営支援協議会委員の充実を図ります。

(建設産業委員会所管分)

個別施策名	回遊性のあるまちづくり
施策内容	・回遊性向上のため、周遊ルートや飲食・みやげ物販売・休憩施設の充実を図ります。 ・点在するまちの魅力や歴史や文化のストーリー性を持たせて情報発信するとともに、遊歩道や交通網などの整備を進めます。
行政への提言	①事業目的と将来ビジョンを早急に明確にする。 ②市内事業者へのヒアリング等を実施し「観光客のニーズ」と「市内事業者のサービス」のマッチング。 ③観光資源の発掘とソフト事業を進めるための専門性の高い民間事業者（プランナー）の活用。
市長からの回答	①具体的施策等について、より明確にできるよう努めます。 ②半田商工会議所にアンケート結果等を伝え協議し、観光客にあったサービスの向上に努めます。 ③やりません。まずは市内観光関連事業者と情報を共有しながら連携した事業を展開していきます。

個別施策名	担い手の育成
施策内容	・認定農業者の育成・支援や新規就農者の確保を図り、効率的かつ安定的、持続的な農業経営を促進します。
行政への提言	①新規就農の儲かる農業の仕組み（所得の明示、農地の確保、生産物の販売先の確保などのビジネスモデル）を示し、新規就農者を募る。 ②新規就農者が生産した農作物等の給食センターやJAでの買い取り制度。 ③市内定住も視野に入れた市内外の人向けの新規就農者募集のPR活動。
市長からの回答	①JAとタッグを組んで生産物の販売先などを提示できるような仕組みづくりに取り組むために、現在JAと協議中です。 ②新規就農者が生産する農作物等は、品質と生産量が安定しにくく、給食で取り扱うことは困難です。 ③JAや半田農業高校と連携し、市内定住も視野に入れた新規就農者確保のPR活動を行っていきます。

個別施策名	市営墓地
施策内容	・返還区画の状況を把握し、新規区画として再募集します。 ・乙川一色墓地は、無縁墳墓を整理し新規区画を整備します。 ・老朽化や危険性のある箇所を計画的に整備し、樹木管理や雑草除去など適切に維持管理を行います。 ・利用状況や墓地需要を的確に捉え、区画を安定供給するための墓地管理計画を策定します。
行政への提言	①使用者不明区画の早期解消に向けての法的手段の行使。 ②受益者負担を踏まえた今後の墓地のあり方の検討。 ③使用者不明区画の早期解消に向けての法的手段行使の受け皿として、無縁仏の供養施設の整備。
市長からの回答	①平成30年度までに北谷・北部墓地を、平成31年度から平成32年度までに有脇・乙川一色・成岩・黒石墓地の使用者不明区画への置手紙、継承手続きを進めます。平成30年度は、使用者不明区画の調査や承継手続等で事務量の増加が見込まれる為、臨時職員（半日）1名を増員する予定です。墓石等個人財産の処分について、顧問弁護士に相談等し、適正に対処します。 ②受益者負担としての墓地管理料導入を踏まえた墓地管理計画の策定に向け、有識者・市民等による委員会を組織し、意見をとりまとめた後、パブリックコメントを実施します。 ③墓地管理料導入後、無縁墓地を新たに設置します。